

## 2025年3月のGlobal Sessionのお知らせ

### 濱田雅子の服飾講座

#### 「服飾からみた生活文化」シリーズ 28

期日：2025年3月29日(土) 10:30-12:30

場所：ガレリア亀岡3階 会議室

ゲスト：濱田雅子氏 (神戸からオンラインで配信)

元武庫川女子大学教授 アメリカ服飾社会史研究会会長

テーマ：1940年代のアメリカ服飾史

—第二次世界大戦がファッションに与えた影響—

コーディネーター：亀田 博氏 (ツアー・コンダクター)

主催 Office Com Junto 共催 第50回アメリカ服飾社会史研究会 亀岡国際交流協会

【現地参加者の申し込み先】

参加者：10名くらいまで

参加費：600円

申し込み先：Office Com Junto 主宰 児嶋きよみ

E-mail：kiyomi-kojima@gaia.econet.ne.jp Tel：0771-23-6579

#### 「1940年代のアメリカ服飾史—第二次世界大戦がファッションに与えた影響—」

周知のように、日本による真珠湾攻撃によって、第二次世界大戦の火蓋が切られました。本講座では、第二次世界大戦がファッションに与えた影響やハリウッドからブロードウェイまで—戦争が娯楽産業に与えた影響—、ファッションにおける合成繊維革命の始まり、戦時中に影響を与えたデザイナーたちについて、お話をさせていただきます。また、私たちに身近な食生活や衣生活について、戦時中はどうだったのか、一緒にディスカッションできればと思います。おじいさん、おばあさん世代の戦時中の暮らしについて、身近な事例を事前に情報収集しておいていただければ、会が盛り上がるかと思われま

す。日本でも配給クーポンが配られていました。イギリスの事例の写真を添付いたします。また、衣料品や履物の工夫の事例として、フェラガモのウェジウッドのシューズの写真を添付いたします。皆様のご参加をお待ちしています。

#### 全体構成

I 参考文献

II 歴史的概観

—1920年から1940年までの世界全体のスナップショット—

III 第二次世界大戦がファッションに与えた影響

IV ハリウッドからブロードウェイまで—戦争が娯楽産業に与えた影響—

V ファッションにおける合成繊維革命の始まり

VI 戦時中に影響を与えたデザイナーたち

VII 結論

配給クーポンブック イギリス 1942年頃



ID カードが発行されると、配給クーポンブックと一緒に発行されました。最初は年間 66 点の衣類が支給されました。1942 年には 48 点に、1943 年には 36 点に、1945 年には 24 点に減らされました。14 歳から 16 歳の子供には、服がすぐに着られなくなるのを補うため、さらに 20 枚のクーポンが与えられました。衣料配給ポイントはウール、綿、家庭用繊維製品に使用できました。工場労働用のオーバーオールなどの作業着には、さらにポイントが加算されました。



ウェッジシューズもまた、配給制のために第二次世界大戦中に絶大な人気を博した衣類です。もともとは 1935 年にサルヴァトーレ・フェラガモが作ったもので、革の代わりにコルクを靴底に使ったのです。このウェッジは戦時中に非常に重宝され、靴底は木製かコルク製で、アッパーには布や麻などの天然繊維が使用されました。